

指導と評価の年間計画(英語)

岐阜県立長良高等学校

科目	論理・表現 I	学年	1	単位数	2
使用教科書	Standard Vision Quest English Logic and Expression I (啓林館)	副教材・問題集等	Nagara English (独自教材) Vision Quest Standard ワークブック (啓林館) スマートレクチャーコレクション ライティング メソッド (啓林館)		
指導者氏名					
指導クラス					

1. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・話すこと(やり取り) <ul style="list-style-type: none"> ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。 ・話すこと(発表) <ul style="list-style-type: none"> ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 ・書くこと <ul style="list-style-type: none"> ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの場面において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手と読み手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

3. 指導及び評価計画

月	単元	題材内容 指導項目	予定時間	主な言語活動(学習内容)・到達目標	評価の場面 ・方法	評価の観点		
						a	b	c
4月	Lesson1 (オエンテーションを含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい友達やクラブ活動を紹介する内容 ・文の種類(疑問文、命令文、感嘆文) ・応答する ・理由を述べる 	5時間	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問文、命令文、感嘆文の用法を理解する。 ・相手の発話に回答する表現と考えを理由とともに話して伝える技能を身につける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に自分のことをよく理解してもらえるように、自分の参加するクラブ活動をクラスに紹介することができる。 ・聞き手に自分の好きな科目についてよく理解してもらえるように、主張、理由、例を含めた3つの文で応答することができる。 	小テスト 定期考査 パフォーマンス テスト(スピーチ [S.P]) ワークシート	○	○	○
5月	Lesson2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事(文化祭)についての内容 	4時間	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文型(5文型)とThere is(are)～と自動詞と他動詞の用法を理解する。 	小テスト 定期考査 ワークシート	○	○	○

		<ul style="list-style-type: none"> ・文型と動詞 ・賛成する/反対する ・聞き直す 		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の論点を認めた上で反論したり、相手の発言内容を確認するために聞き返したりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・学校行事の計画について話して伝えあうことができる。長良高校の文化祭について、論理の構成を工夫して友達にメッセージを書くことができる。 ・普段の生活で行うことについて項目を列挙しながら相手に書いて伝えることができる。 				
	Lesson3	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行や観光に関する内容 ・時制（現在、過去、未来） ・激励する/励ます ・計画する/予定する 	4時間	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・時制（現在形、過去形、未来表現）の用法を理解する。 ・相手を激励する表現や、計画や予定を伝えるための表現を理解する。 【思考・判断・表現】 ・自分の旅行の経験について、論理の展開を工夫して、相手に伝えることができる。 ・最近休日にしたことやこれから予定していることを聞き手によく理解してもらえるように、主題と詳述を意識して話したり書いたりすることができる。 	小テスト 定期考査 ワークシート スマートコレクション①	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
6月	Lesson4	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や関心に関する内容 ・完了形（現在、過去、未来） ・経験を訪ねる ・初めての経験を述べる 	4時間	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・完了形（現在、過去、未来）の用法を理解する。 ・相手の経験を訪ねたり、自分の初めての経験について伝えたりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・スポーツや音楽について、これまでの経験について質問したり、自分が行ったことがある場所や体験したことについて、論理の展開を工夫して、話したり書いたりすることができる。 	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	前期中間考査		1時間					
	Nagara English 独自教材	<ul style="list-style-type: none"> ・名作と呼ばれる映画や小説などからレシテーション用に用意した英文を使用 ・英文の内容を理解し、感情を込めて読む 	5時間	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・目的や場面、状況に応じて、語や句、文における適切な強勢やイントネーション、区切りについて理解し、書き手の意図やメッセージの重点を効果的に伝えるための技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・書き手の意図やメッセージの重点を、音声で効果的に伝えるための技能を身につける。 	パフォーマンステスト（レシテーションコンテスト [S.P.]）	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
7・8月	Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> ・将来や進路に関する内容 ・助動詞 ・許可を求める/依頼する ・義務/必要を表す ・回想する/自省する ・パラグラフの構成 	6時間	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・助動詞の用法について理解する。 ・相手に許可や依頼、義務や必要、また回想や自省を伝える技能を身につける。 ・パラグラフの構成について理解する。 【思考・判断・表現】 ・将来の夢と、実現のために必要なことについて、論理の構成を工夫して、書いて伝えることができる。 ・1つのパラグラフの作成につながるように、部活動の是非や読書や運動の重要性などについて、つなぎの言葉を用いて、論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに自分の意見を述べるすることができる。 	小テスト 定期考査 ワークシート スマートコレクション②	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
9月	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物など日常生活に関する内容 ・受動態 ・原因/影響 ・喜び/驚き 	4時間	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 ・受動態の用法について理解する。 ・物事の原因や影響について表現したり、喜びや驚きなど感情を表現したりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・おすすめの小説をペアに紹介することができる。 ・最近驚いたことについて理由を交えながらペアに伝えることができる。 ・買い物の出来事について、論理の展開を工夫してペアと話したり、詳細に日記にまとめたりすることができる。 	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○

	前期期末考査		1時間					
10月	Lesson7	・誕生会など交流や交際に関する内容 ・不定詞 ・感謝する ・謝罪する ・弁解する ・プレゼンテーション	6時間	【知識・技能】 ・不定詞の用法について理解する。 ・相手に感謝や謝罪を伝えたり、弁解したりする技能を身につける。 ・プレゼンテーションの構成について理解を深め、論理の構成を意識して原稿を書く技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・受け取った贈り物の詳細や気持ちを伝えたり、論理の展開を工夫して、お礼の手紙を書いたりすることができる。 ・再生可能エネルギーの是非について、論理の構成（序論・本論・結論）を工夫し、図表を使って発表することができる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○	○	○
11月	Lesson8	・スポーツや健康に関する内容 ・動名詞 ・誘う/申し出る ・推薦する	4時間	【知識・技能】 ・動名詞の用法について理解する。 ・相手を誘ったり、申し出たりする表現や、推薦する技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・スポーツをすることの利点について、論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに1つのパラグラフを書くことができる。	小テスト 定期考査 ワークシート スマートコレクション③	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	Lesson9	・メディアやコミュニケーションに関する内容 ・分詞 ・描写する ・判断の根拠を述べる	4時間	【知識・技能】 ・分詞の用法を理解する。 ・場面を描写したり、判断の根拠を述べたりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・自分自身や性格について、論理の展開を工夫して説明する1つのパラグラフを書くことができる。	小テスト 定期考査 ワークシート スマートコレクション④	○ ○	○ ○	○ ○
	後期中間考査		1時間					
12月	Lesson10	・文化や異文化理解に関する内容 ・関係詞 ・定義する ・言い換える ・スピーチ	7時間	【知識・技能】 ・関係詞の用法を理解する。 ・物事や概念を定義したり、別の視点から言い換えたり、経緯を説明したりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・日本の文化や人たちについて話したり書いたりすることができる。 ・日本の文化や海外の文化を、論理の構成を工夫して、クラスで紹介することができる。	小テスト 定期考査 パフォーマンステスト（校内英語スピーチコンテスト [S.P.]）	○ ○ ○	○	○
1月	Lesson11	・国際問題に関する内容 ・比較表現 ・提案する ・賞賛する ・ディベート（立論及びQAのみ）	7時間	【知識・技能】 ・比較表現の用法を理解する。 ・相手の意向を尊重しつつ提案したり、物事を賞賛したりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・貧困、男女平等、環境などの国際的な話題について、論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに1つのパラグラフを書くことができる。 ・電子書籍やコンビニの24時間営業の是非に関するディベートにおいて、相手からの質問に対して、意見を論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに述べるすることができる。 ※1年次のディベートは試合形式では行わず、立論とQAを行う段階に留める。	小テスト 定期考査 パフォーマンステスト（ディベート [S.I.]）	○ ○	○ ○	○ ○
2月	Lesson12	・日本の社会問題に関する内容 ・仮定法 ・助言を求める/助言する ・願望を表す ・グループディスカッション	6時間	【知識・技能】 ・仮定法の用法を理解する。 ・相手に助言を求めたり、助言したりする技能や願望を表す技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・「タイムマシンがあったら」というテーマのグループディスカッションにおいて、自分の考えを論理の矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに述べる ことができる。 ・日本の社会問題について自分の意見を示し、相手	小テスト 定期考査 スマートコレクション⑤	○ ○	○	○

			の意見に対して賛成、反対を示しながら、グループで意見を深めることができる。 ※グループディスカッションは、同時期に英語コミュニケーションⅠでも行い、論理・表現Ⅰにおいては記録に残す評価は行わない。				
学年末考査		1時間					
		70時間	※「主体的に学習に取り組む態度」は、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。	S. I=「話すこと [やり取り]」 S. P=「話すこと [発表]」			

4. 「話すこと [やり取り]」と「話すこと [発表]」を評価するパフォーマンステスト

【前期】

時期	単元	パフォーマンステストの種類	評価領域	評価の形態等
4月	L1	スピーチ	話すこと [発表]	授業内での発表
7月		校内レシテーション大会	話すこと [発表]	授業内での発表 (クラス予選)

【後期】

時期	単元	パフォーマンステストの種類	評価領域	評価の形態等
12月		校内スピーチコンテスト	話すこと [発表]	授業内での発表 (クラス予選)
1月	L9	ディベート (立論とQAのみ)	話すこと [やり取り]	A L Tによるインタビュー

※「話すこと (発表)」「話すこと (やり取り)」の評価において必要に応じて ICT (MetaMoJi) を使用する。

※「書くこと」の評価については、授業で取り組むワークシート、スマートコレクション及び定期考査で評価する。